質　問　回　答

2021 年 8 月 26 日

「全世界2021年度案件別外部事後評価パッケージⅢ－3（ルワンダ）（一般競争入札（総合評価落札方式））」
（公示日：2021 年 8 月 11 日／調達管理番号：21a00149）について、質問と回答は以下の通りです。

<table>
<tr><th>通番号</th><th>頁</th><th>当該頁項目</th><th>質問</th><th>回答</th></tr>
<tr><td>1</td><td>p14</td><td>第 3 条業務の目的と範囲
技術協力「ンゴマ郡灌漑開発計画」</td><td>対象案件の一つである「ンゴマ灌漑開発計画」は「技術協力」ではなく、「無償資金協力」という理解でよろしいでしょうか。</td><td>失礼いたしました。本事業は無償資金協力になります。

P.14「第 3 条」内の表の下段を以下の通り訂正します
<table>
<tr><th></th><th>国名</th><th>スキーム</th><th>案件名</th></tr>
<tr><td>誤</td><td rowspan="2">ルワンダ</td><td>技術協力</td><td rowspan="2">ンゴマ郡灌漑開発計画</td></tr>
<tr><td>正</td><td>無償資金協力</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>2</td><td>p15</td><td>「外部事後評価レファレンス（2021 年度版）」</td><td>「外部事後評価レファレンス」では、ノンスコア項目のうち「主観的な観点による振り返り」は「案件を選定して実施する」とあります。本業務の特記仕様書には、特にこの点への言及がないため、「主観的な観点による振り返り」の対象ではないと考えてよいでしょうか。</td><td>ご理解の通りです。</td></tr>
<tr><td>3</td><td>p15</td><td>「外部事後評価レファレンス（2021 年度版）」</td><td>配布資料に含まれていた「2021 年度評価方針_事前事後比較表」「2021 年度評価報告書」の「3.1.1 妥当性」の小見出しは、「開発政策</td><td>現時点では、その事業の特性・内容に応じて記載することを想定しています。</td></tr>
</table>

			との整合性」「開発ニーズとの整合性」「事業計画やアプローチ等の適切さ」の三つとなっています。「外部事後評価レファレンス」の「妥当性」に挙げられている「⑤社会的弱者への配慮・公平性」は、既存の三つの見出しのいずれかに、内容に応じて記載するのでしょうか。それとも、「その観点からしかるべく案件が形成・実施されているか確認する。」とあることからは、「事業計画やアプローチ等の適切さ」として評価に含める想定でしょうか。	
4	p30	旅費（航空賃） 個別の渡航に係る航空賃の実費を確認するのではなく、エコノミークラスとビジネスクラスに分けた渡航回数のみを確認し、契約書に記載された単価を乗じた金額を確定金額とします。	コロナ等の影響で、見積時（契約時）に想定していた航空経路が使えなくなりより高額な経路を選ばざるを得なくなった場合も、同様の精算方法となるのでしょうか。	0） 契約締結に際し、「入札金額内訳書」のご提示と共に貴方が依拠した航空賃見積書をご提出いただきます。 1） 実際の渡航時に上記 0）からの著しい価格高騰が認められる場合は、渡航時（直前）の改めての見積徴取を条件に、打合簿での当該価格高騰の相互確認を以て、航空賃のみ実費精算を可とします。 2） 応札に想定した航空経路が使えない場合（運休・廃止）も上記 1）と同様とします。

以　上